

獨協埼玉高等学校 学校評価 第三者評価 (2019 年度)

能動的な学習の推進について

従来型の教師が解説して生徒はノートに写し、覚えるという方法は受動的であり、生徒が常に疑問を持ち、教師とともに学ぶ姿勢が必要となる。そのためには進学のためだけではなく、あらゆるものに興味関心を持つような授業の工夫が大切だと思う。授業形態を変えるのであれば、生徒だけでなく、教師の姿勢も問われることになる。

多様な進路目標の実現に向けて

多くの生徒諸君はある程度のレベルの大学へ進学したいと考えている。その夢を現実のものにするためにはいつエンジンをかけられるかにかかってくる。2年生の夏までにはっきりとした目標設定ができれば実現可能ではないか。そのための進路指導を逆算し、いつ、どのような指導が必要かを考えて欲しい。

登下校の安全確保とマナーについて

私立他校では最寄り駅から学校まで生徒会が中心となって登下校の指導をしている学校がある。また、生徒自身にマナーなどを考えさせ、討論会などを実施しているところもある。ルールやマナーを上から押し付けるのではなく、その必要性が中から出てくるような方法を考えられないだろうか。

安心安全な学校を目指して

避難訓練や AED 講習会、災害時非常食の確保などの対策は取っているようだが、社会ではいじめや不登校、SNS のトラブルといった問題が後を絶たない。今後もこのようなトラブルを未然に防ぎ、安心して登校できる学校を目指してほしい。